



# ニュースレター

No.1

発行日 2009年9月

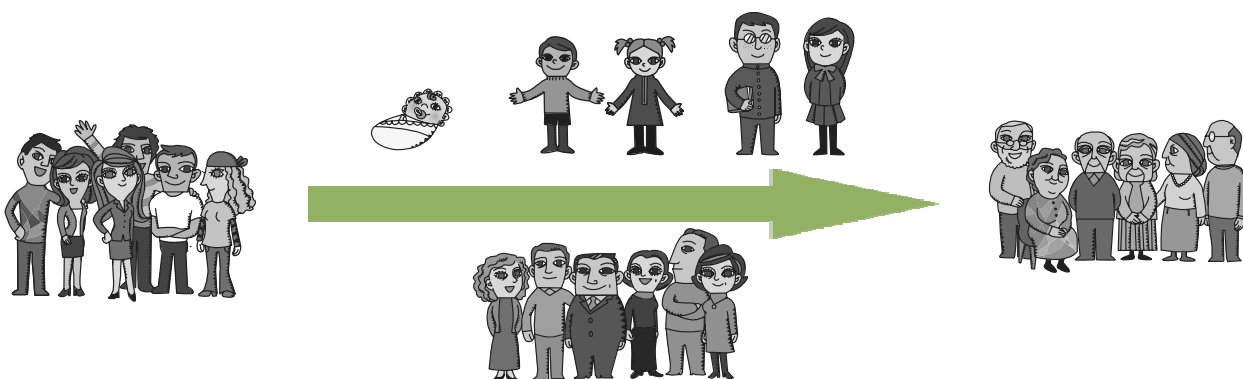
## 1 フォローアップ調査とは

フォローアップ調査とは、同じ方々に繰り返し調査をさせていただくものです。

結婚や子どもの成長、家族の病気や介護・・・さまざまな出来事を通じて私たちの家族生活は変わっていきます。長い夫婦生活を、まったく変わらない関係ですごすというご夫婦もいれば、時間とともに役割を変えていくご夫婦もいらっしゃいます。現在の日本社会で展開されている家族の姿を忠実にとらえようというのが私たちの調

査のねらいです。

何度も調査をさせていただいても、皆様の情報が他所にもれることはありません。皆様のお名前やご住所といった個人情報は、アンケート内容とは別の場所で、調査委託会社が厳重に管理いたします。また、いただいた情報を、個人が特定されるかたちで公表することはいたしませんので、ご安心ください。



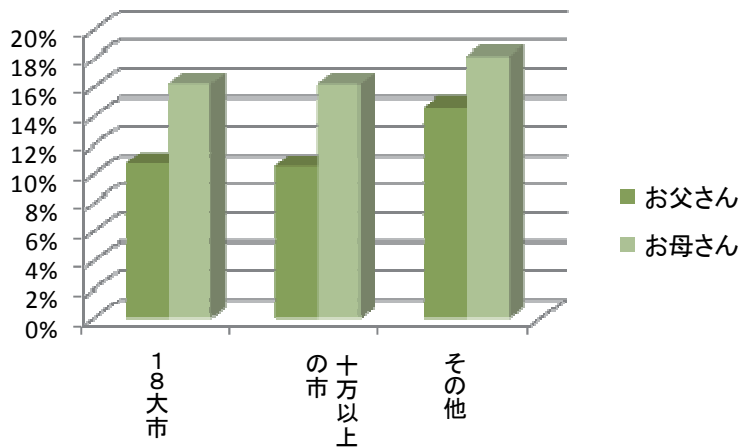
## 2 ご回答ありがとうございました

約1,900名の方にご回答いただきました。回答していただいた方は、男性44%、女性56%です。男性の方がやや少ないですが、ぜひ今後とも継続して回答をお願いしたいと思います。年齢別では、20歳代・30歳代の方が26%、40歳代22%、50歳代22%、60歳代以上の方は30%でした。お住まいの

地域は、18大市（札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都、川崎市、横浜市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市）25%、10万以上の市40%、その他の市町村35%でした。

### 3 調査結果のご紹介(速報値)

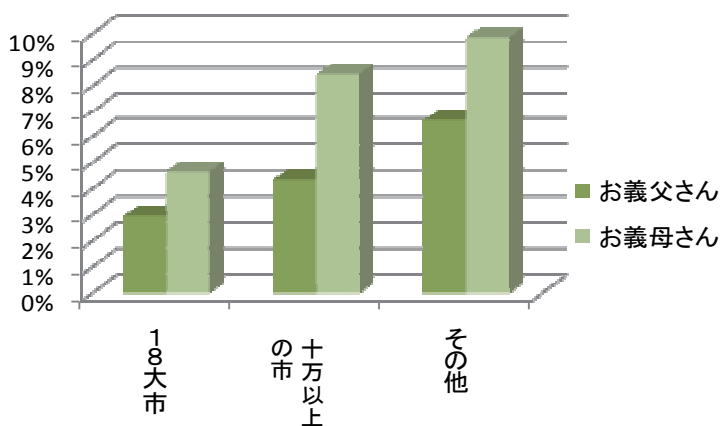
#### 地域別お父さんお母さんと同居している割合



ここでは、18大市、人口10万以上の市、その他の市町村を比較しました。

お父さんやお母さんとの同居割合は、18大市と10万以上の市は、その他の市町村に比べて低いことがわかります。

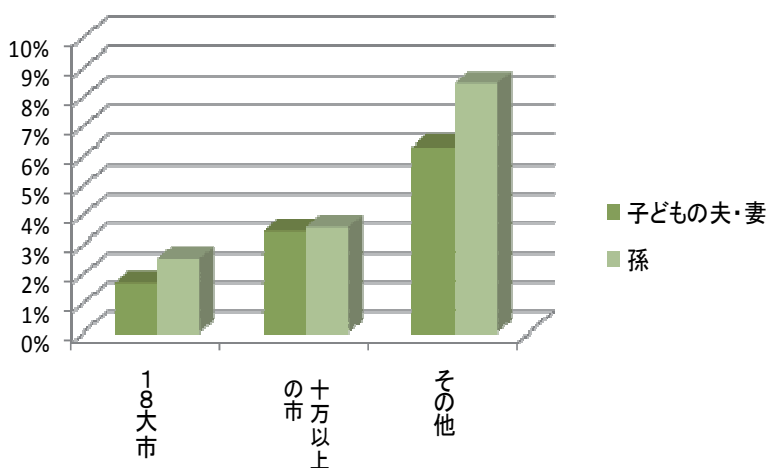
#### 地域別お義父さんお義母さん(夫・妻の親御さん)と同居している割合



では、お義父さん、お義母さんについてはどうでしょう。

その他の市町村、10万以上の市、18大市の順となっています。お父さん、お母さんの場合と同じように、お義父さんとお義母さんを比べると、お義母さんとの同居率のほうが高くなっています。

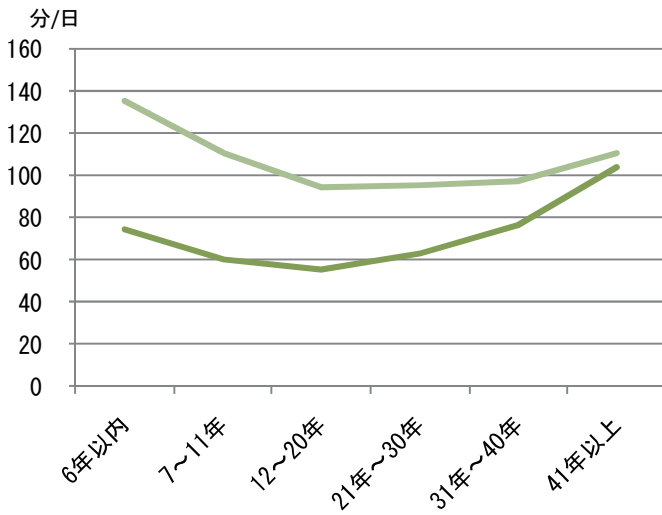
#### 地域別ご自身のお子さんの夫・妻、ご自身のお孫さんと同居している割合



ご自身のお子さん夫婦、お孫さんについては18大市では同居率が非常に低く、その他の市町村では高くなっています。

ここまでみた3つのグラフから、結婚後に親御さんと同居するタイミングの違い(結婚と同時に同居、結婚してから数年後に同居など)があることも考えられます。

## 結婚年数別の平日と休日の夫婦の会話時間(分)

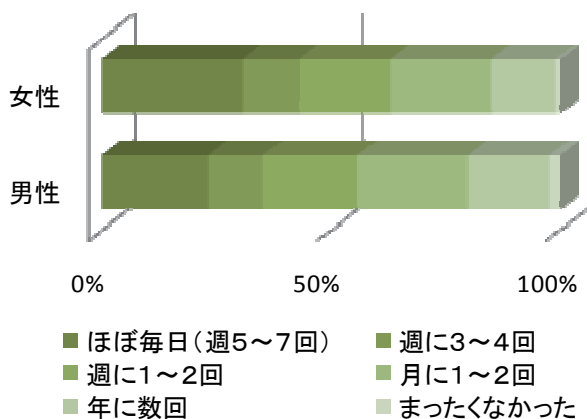


結婚してからの年数別に平日と休日のご夫婦の会話時間をみてみました。

全体でみると平日は1時間程度、休日は2時間程度会話なさっています。休日のご夫婦一緒にいる時間が長いせいか平日よりも会話時間(分)は長いようです。

結婚して20年目まで会話時間は、ほぼ減少していくようです。それ以降、ふたたび会話時間は長くなっていく傾向があります。

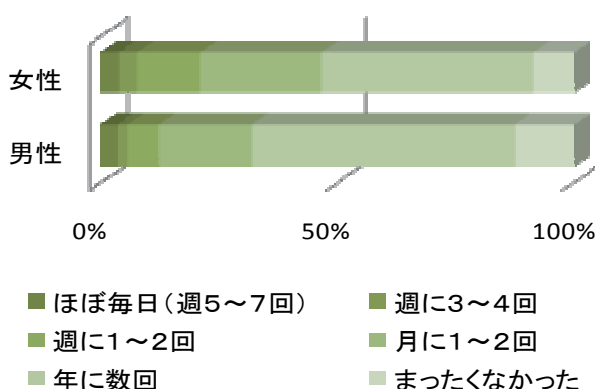
## 男女別のお子さんとの会話



お子さんとの会話がまったくなかったと回答した方はほとんどいらっしゃいませんでした。

お子さんの年齢によって、一緒に住んでいたりと、お子さんが就職や結婚などで家を離れていたりと、状況は様々ですが、概して、女性(お母さん)の方がお子さんとの会話は多いようです。

## 男女別のご自身のごきょうだいとの会話



ごきょうだい(兄弟姉妹)がいらっしゃる方の回答を集計しました。

お子さんとの会話と同様、女性の方がごきょうだいと多く会話しています。

とくに、女性同士のきょうだい、つまり姉妹は会話が多いようです。

## 4 NFRJ-08パネル実行委員会について

「第3回家族についての全国調査」は日本家族社会学会全国家族調査委員会の中のNFRJ08実行委員会（委員長：稲葉昭英（首都大学東京））が実施しました。ひきつづきフォローアップ調査は、NFRJ-08パネル実行委員会が実施いたします。

NFRJ-08パネル実行委員会ホームページ

<http://www.wdc-jp.com/jsfs/committee/contents/followup.htm>

来年1月頃に郵送でアンケート用紙を送らせていただきます。  
 次回は短いアンケートの予定です。  
 ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

- ★ 転居なさった時は、お手数ですが、下記までお知らせください。

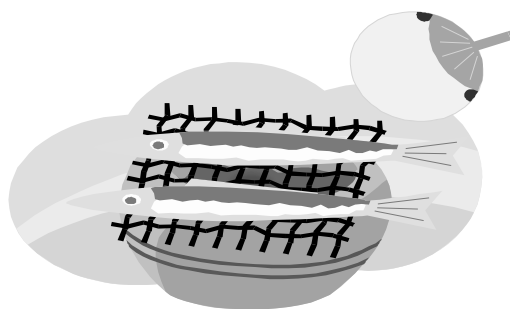
社団法人 中央調査社

〒104-0061

東京都中央区銀座6-16-12

0120-48-5351（フリーダイヤル）

<http://www.crs.or.jp>



本調査でお送りする郵便物にはこのロゴがついています

〈実行委員会メンバー〉

西野理子（東洋大学）〈委員長〉

永井暁子（日本女子大学）〈事務局長〉

田中慶子（家計経済研究所）

田中重人（東北大学）

筒井淳也（立命館大学）

松田茂樹（第一生命経済研究所）

水落正明（三重大学）

三輪 哲（東北大学）

保田時男（大阪商業大学）